

## 第 171 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	平成 30 年 1 月 17 日（水）午前 10 時 00 分～11 時 45 分 経済調査会会議室
出席委員	朝堀泰明、加藤佳孝、小路直彦、鈴木準、野口貴文（委員長）（五十音順）

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																								
<p>1. 前回議事概要の確認</p> <p>2. 「積算資料」2月号土木系資材の価格変動の妥当性について</p>	<p>・ 前回議事概要案が承認された。</p> <p>・ 審査対象資材のうち、2月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 20%;">&lt;品目&gt;</th> <th style="text-align: center; width: 20%;">[地区]</th> <th style="text-align: center; width: 60%;">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3"><b>【上伸した資材】</b></td> </tr> <tr> <td>異形棒鋼</td> <td>全国（北海道除く）</td> <td>原料となる鉄屑の騰勢が続くなか、メーカー各社は強硬な販売姿勢を推し進めている。先々の案件も含め、安定供給を優先する需要者側の購買姿勢から値上げが浸透。市況は上伸した。</td> </tr> <tr> <td>H形鋼</td> <td>全国（北海道除く）</td> <td>需給は引き締まった状態が続くなか、製販側の売り腰は強く市況は上伸。メーカー側は更なる値上げ打ち出しを示唆しており、先行きも強含み。</td> </tr> <tr> <td>鉄屑</td> <td>全国</td> <td>国内電炉メーカーは鉄屑確保の手を緩めず、購入価格を引き上げ、適正量の入荷に努めている。主要な需要者が 500 円/t 購入価格を引き上げ、間屋筋も概ね同水準で追随。市況は上伸した。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>福島、栃木、宮崎</td> <td>福島地区および宮崎地区では昨年 3 月に表明した値上げが浸透し上伸。栃木地区では昨年 10 月にプラント補修経費や輸送費の上昇等を理由に 300 円/m<sup>3</sup> の値上げを打ち出し、市況が上伸。</td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン</td> <td>熊本、沖縄</td> <td>熊本地区では災害復旧関連工事向けの出荷を中心に需要は堅調、品薄状態を受けて市況上伸。沖縄地区では空港滑走路増設工事による再生材の需給の逼迫に伴って、新材の市況も上伸した。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート用砕石</td> <td>熊本</td> <td>主な需要者である生コン工場の旺盛な需要を背景に出荷量が増加。フル生産の状況が続くなか、メーカー側では安定供給体制維持のために値上げは不可欠とし、強気の姿勢で交渉を継続した結果、市況は上伸。</td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	[地区]	(理由)	<b>【上伸した資材】</b>			異形棒鋼	全国（北海道除く）	原料となる鉄屑の騰勢が続くなか、メーカー各社は強硬な販売姿勢を推し進めている。先々の案件も含め、安定供給を優先する需要者側の購買姿勢から値上げが浸透。市況は上伸した。	H形鋼	全国（北海道除く）	需給は引き締まった状態が続くなか、製販側の売り腰は強く市況は上伸。メーカー側は更なる値上げ打ち出しを示唆しており、先行きも強含み。	鉄屑	全国	国内電炉メーカーは鉄屑確保の手を緩めず、購入価格を引き上げ、適正量の入荷に努めている。主要な需要者が 500 円/t 購入価格を引き上げ、間屋筋も概ね同水準で追随。市況は上伸した。	生コンクリート	福島、栃木、宮崎	福島地区および宮崎地区では昨年 3 月に表明した値上げが浸透し上伸。栃木地区では昨年 10 月にプラント補修経費や輸送費の上昇等を理由に 300 円/m <sup>3</sup> の値上げを打ち出し、市況が上伸。	クラッシュラン	熊本、沖縄	熊本地区では災害復旧関連工事向けの出荷を中心に需要は堅調、品薄状態を受けて市況上伸。沖縄地区では空港滑走路増設工事による再生材の需給の逼迫に伴って、新材の市況も上伸した。	コンクリート用砕石	熊本	主な需要者である生コン工場の旺盛な需要を背景に出荷量が増加。フル生産の状況が続くなか、メーカー側では安定供給体制維持のために値上げは不可欠とし、強気の姿勢で交渉を継続した結果、市況は上伸。
<品目>	[地区]	(理由)																							
<b>【上伸した資材】</b>																									
異形棒鋼	全国（北海道除く）	原料となる鉄屑の騰勢が続くなか、メーカー各社は強硬な販売姿勢を推し進めている。先々の案件も含め、安定供給を優先する需要者側の購買姿勢から値上げが浸透。市況は上伸した。																							
H形鋼	全国（北海道除く）	需給は引き締まった状態が続くなか、製販側の売り腰は強く市況は上伸。メーカー側は更なる値上げ打ち出しを示唆しており、先行きも強含み。																							
鉄屑	全国	国内電炉メーカーは鉄屑確保の手を緩めず、購入価格を引き上げ、適正量の入荷に努めている。主要な需要者が 500 円/t 購入価格を引き上げ、間屋筋も概ね同水準で追随。市況は上伸した。																							
生コンクリート	福島、栃木、宮崎	福島地区および宮崎地区では昨年 3 月に表明した値上げが浸透し上伸。栃木地区では昨年 10 月にプラント補修経費や輸送費の上昇等を理由に 300 円/m <sup>3</sup> の値上げを打ち出し、市況が上伸。																							
クラッシュラン	熊本、沖縄	熊本地区では災害復旧関連工事向けの出荷を中心に需要は堅調、品薄状態を受けて市況上伸。沖縄地区では空港滑走路増設工事による再生材の需給の逼迫に伴って、新材の市況も上伸した。																							
コンクリート用砕石	熊本	主な需要者である生コン工場の旺盛な需要を背景に出荷量が増加。フル生産の状況が続くなか、メーカー側では安定供給体制維持のために値上げは不可欠とし、強気の姿勢で交渉を継続した結果、市況は上伸。																							

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
<p>○宮崎地区は、生コンの出荷量に対して工場数が比較的多く、1工場当たりの出荷量が他地区に比べて少ない。また、価格の上昇が継続的かつ非常に大きな額となっている。</p> <p>○宮崎地区は生コンの工場数が比較的多いが、集約化が難しい理由は何か。</p> <p>○異形棒鋼とH形鋼を比較すると、価格変動は異形棒鋼の方が大きく、単位当たりの価格はH形鋼の方が高いようだが、そのように考えて差し支えないか。</p> <p>○鉄鉱石の価格がこの1～2年で2倍以上に上昇しているが、H形鋼の価格に影響を与えていないのか。</p> <p>3.「積算資料」2月号建築系資材の価格変動の妥当性について</p>	<p>再生クラッシュラン 沖縄</p> <p>軽油 全国</p> <p>鉄筋コンクリート U型 北海道</p> <p>・地方の生コン工場の場合、1工場当たり平均で30,000～50,000m<sup>3</sup>の出荷量が一般的と言われているが、宮崎地区の生コン工場は平均で20,000m<sup>3</sup>を切っているため、他地区に比べて出荷量が少ないことは確か。また、価格の上昇が大きいのは、10年ほど前に員外社が組合に加盟して以降、組合の強いリーダーシップのもとに市況立て直しに努めてきた結果であり、現在の価格水準であるから、出荷量が少なくても事業を継続できていると考えられる。</p> <p>・宮崎地区の特徴として、比較的山間部が多いこと、組合エリアが南北に長いこと、そのため生コンの運搬距離が長くなることなどがあげられる。これらの特徴は宮崎地区だけの特徴とは言えないが、工場の集約化が困難な主な理由と考えることはできる。</p> <p>・異形棒鋼は100%電炉品であるのに対し、H形鋼は30%程度が高炉品であること、RC造が減少傾向にあること、また、H形鋼にはひもつきの取り引きが存在することなど、様々な要因から異形棒鋼の方がより原材料価格の変動の影響を受けやすく、また、あくまでも相対的な比較において、H形鋼の方が異形棒鋼と比較して割高に見えることは確かである。</p> <p>・指摘の通り、鉄鉱石の価格は大きく上昇しているが、ほぼ同じ時期に強粘結炭の価格が半値以下に下落しており、ある程度相殺されて、原材料の総コストにそれほど大きな影響を与えていない。</p> <p>・審査対象資材のうち、2月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p>	<p>空港滑走路増設に関する特需により路盤材の需要は旺盛。原材料を確保するためエリアを広げるケースが増加し、調達コストが上昇。表明していた値上げの一部が浸透し、市況は上伸。</p> <p>12月前半は小幅な値動きに留まっていたが、中東情勢の不安定化により12月末以降、相場は強基調となる。調達コストの上昇を早期に価格転嫁したい元売会社が値上げを打ち出し、上伸。</p> <p>製造コストの上昇を理由に昨年1月以降、組合は約15%の値上げを打ち出した。大雨による災害復旧工事もあり、調達困難な品種も散見されるなか、組合の売り腰は強く、市況は上伸。</p> <p>(理由)</p> <p>産地での原木不足による供給減は変わらず。国内においては需給逼迫まで至っていないため、市況は仕入れ価格の上昇を受けた小刻みな上伸となっている。</p>
<p>&lt;品目&gt;</p> <p>【上伸した資材】</p> <p>型枠用合板 全国</p>	<p>(理由)</p>	

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果
<p>○型枠用合板について、今後、他の輸入国の需要が増えていった場合、日本国内の需給動向にどのような影響を与えると考えられるか。</p> <p>4. その他 (1) 次回開催予定</p>	<p>・現在、マレーシアの最大の輸出先は日本である。現地の出材状況を踏まえると、今後、南洋材にはあまり期待できないため、国産針葉樹合板への切り換えが進んでいくのではないかと見ている業者は多い。</p> <p>・平成30年2月16日（金）10時～12時と決定。</p> <p style="text-align: right;">(以 上)</p>

## 価格審査委員会規約

### (目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

### (委員会の事務)

第 2 条 委員会は、理事長の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

### (委員会の委員及び任期)

第 3 条 委員は公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、理事長が委嘱する。

- 2 委員会は、委員 8 人以内で組織する。
- 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、非常勤とする。

### (委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。

- 2 委員長は、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

### (委員会の開催)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月 1 回開催する。

### (審査の報告・助言)

第 6 条 委員会は、第 2 条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて理事長に対し審査結果の報告または助言を行う。

### (意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、第 2 条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由、他調査機関の調査結果との比較資料等を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改訂施行する。

この規約は、平成 24 年 6 月 15 日から改訂施行する。